

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「教育ローンではなく、奨学金を」

西南学院大学神学部長 須藤伊知郎



いつも神学部のことを覚えて、お祈り、お支えくださり心から感謝申し上げます。この秋の3年次転編入・学士入学試験では神学コースに1名の志願者が与えられましたが、残念ながら不合格となりました。

1年次の推薦入試にも神学コース志願者が1名おられて、こちらは無事合格しました。これで、このところ2年続いた外部からの神学コース入学者ゼロという事態は、ストップしました。しかし、それまでの生活を断ち切り、西南の神学部に来てフルタイムで学ぶ直接献身者がなかなか起こされない、という危機的な事態は依然として続いています。

全国壮年会連合が運営を担ってくださっている連盟の神学生奨学金制度は、他派に比べると非常に手厚く、充実しています。本当に有難いことです。しかし、社会全体に目を向けると、経済の低迷が続き、格差が拡大していく現在の状況では、学校を出た最初から大きな借金を背

負ってスタートしなければならない貸与奨学金のあり方が問われており、給付を基本とすべきであるとの議論もあります。国際的な言葉の定義としては、給付型が奨学金であって、貸与型は教育ローンです。言葉の厳密な意味では貸与型は借金であって、奨学金とは言えないのです。連盟の神学生奨学金は現在、第1種（授業料等校納金分）が貸与、第2種（生活費補助）が給付となっています。第1種も給付とすることを、真剣に検討すべき時期に来ているように思われます。

このような厳しい状況の中で嬉しいニュースもあります。連盟加盟教会の教会員である一人の篤志家の方から神学部へ遺贈の申し出がありました。この方は匿名で、後に同じような志を持った方々が続くことを望んでおられます。この尊い献金は神学部の働き、特に伝道者の養成のために使わせていただく予定です。今後とも皆様のお祈りとご支援、ご理解と協力をお願い申し上げます。

2020年11月現在の神学生奨学金献金・会費実績および対前年度比較

地方連合名	神学生奨学金献金					連合会費					
	2020/11実績		前年同月		対前年額	2020/11実績		前年同月		対前年額	
	金額	教会	金額	教会		金額	教会	金額	教会		
北海道	394,725	8	405,356	10	-10,631	54,000	3	75,000	5	-21,000	
東北	405,922	11	393,772	11	12,150	104,000	10	79,500	11	24,500	
北関東	552,972	11	1,079,212	12	-526,240	119,000	7	82,500	7	36,500	
東京	1,276,430	19	1,989,604	25	-713,174	88,000	12	130,500	10	-42,500	
神奈川	857,700	10	1,617,973	12	-760,273	113,000	7	141,000	7	-28,000	
西関東	277,788	6	310,804	6	-33,016	59,500	5	60,000	5	-500	
中部	288,800	5	405,597	6	-116,797	4,000	1	0	0	4,000	
関西	353,800	13	626,983	15	-273,183	62,000	5	76,500	7	-14,500	
中四国	663,435	15	737,540	15	-74,105	102,000	9	85,500	9	16,500	
北九州	533,020	13	522,246	12	10,774	86,500	7	46,500	6	40,000	
福岡	974,320	20	942,998	19	31,322	203,500	12	117,000	11	86,500	
西九州	208,800	6	202,624	7	6,176	28,000	3	1,500	1	26,500	
南九州	448,115	14	218,370	10	229,745	65,000	9	57,000	9	8,000	
個人団体等	5,500	0	502,414	0	-496,914	-	-	-	-	-	
総計	7,241,327	151	9,955,493	160	-2,714,166	1,088,500	90	952,500	100	136,000	
対前年比	72.7%	94.4%				114.3%	90.0%				
個人団体除く合計	7,235,827	151	9,453,079	160	-2,217,252						
対前年比	76.5%	94.4%	(参考:個人団体等を除く献金額です。)								

◎11月末現在、個人団体等を除く金額です。献金は前年同月を下回っています。(対前年度比で献金が76.5%(約-221.7万)、会費は114.3%(約+13.6万)です。ぜひお祈りに加えていただき献金増加と共に、充実した連合活動のために連合会費へのご協力をお願いします。

「輝け、セブンティーズ！」

東京バプテスト神学校 神学専攻科 眞柄光久
(推薦教会 大井バプテスト教会)



78才のバイデンが大統領になった。長期の選挙運動を経てきたはずなのに、疲れたそぶりは全く見せない。セブンティーズの時代が訪れたのだ。

私は71才。心の中に信仰の炎はますます燃えさかる。

カレブは45年間荒野をさまよひ、85才の時に、「主があの日約束してくださったこの山地をください」と、さらなる困難に挑戦していった。

私たちセブンティーズの信仰の道は目の前に広く、大きく示されている。

「老いて益々盛ん」はセブンティーズに与えられた特権の言葉なのだ。

私は、66歳で神学校に通い始め、体力、知力の衰えに自分を呪い、泣き、でも、あきらめようとは思わなかった。年寄りの冷や水ではなく、年寄りに熱湯で、睡眠不足もなんのその、上は80歳、下は20歳の同級生たちと、あるものは、夫と自分の二人の母親の介護をしながら、あるものは妻の病状を気づかしながら、怒鳴り合い、ノートが飛び、教科書が破れるクラスの中で、祈り合い、教え合い、イエスの愛を伝えるために、確実に聖書の知識を増やしていった。

兄弟姉妹、学びの時に遅いも、早いもない。あるのは主の時だけだ。

さあ、共に学び、いつか、主の福音をたずさえて外に出ていこう。

「最も小さい連合の壮年会」 西関東地方連合壮年会長 佐藤 浩 (山梨バプテスト教会)



遠野VC(ボランティアセンター)で活動をしていた際に知り合った繋がりで一昨年、東北連合のM兄より、何年も活動実績のない西関東壮年会の窓口に佐藤がなるようにと勧められ、引き受けてしまった。

確かに私が西関東連合に来て活動したところを見たことがない。そもそも私自身、未だかつて壮年会の活動をしたことが無い。それだけに活動再開と言っても何からして良いのかわからず、連合総会資料に記すべき壮年会活動案も、全国壮年会連合のHPを見て、その目的と事業を再確認し祈ることから始めた。そしてまだまだ祈り始めたばかりで、実活動に移せていない。特に今年はコロナ禍という言い訳ができてしまった。

その西関東連合はそもそも関東地方にはない。北関東連合は関東地方内の北部地域の連合だが、西関東連合は関東地方の西外側に面した地域教会の連合で、9教会2伝道所と地方連合の中では最も小さい連合だ。また都市部の連合と違って教会同志が離れており、最も離れた教会同志では3時間半以上かかる。他の多くの教会、連合同様に高齢化が進み、集まるのも容易ではなくなった。

しかし不幸中の幸いというのか、このコロナ禍に於いてオンラインでの交流が身近なものとなった。教会同志をオンラインで繋ぎ、これまで休日の連合集会に集まることの出来なかった方々とも、礼拝後にモニター越しにせよ顔を合わせ、交わりを持ちたい。最も小さい群れは主から知恵を頂いて、ゆっくり再び歩み出そうと思う。

<第2回奨学金委員会報告> 開催：2020年11月21日(土) 於：ZoomによるWeb会議

- ・連盟総会・理事会・西南大神学部・会計・献金・監査等報告
- ・2021年度西南大転・編入学神学生との面談報告
- ・2021年度奨学金申請者の審査
- ・2020年度奨学金償却者の審査(2019年度末に償却)
- ・定期報告・返済計画等の確認とその対応
- ・中間監査に対する対応
- ・返還免除対象者の審査(主に2016年3月卒業生を対象)
- ・償却対象者及び償却額は、第3回奨学金委員会で確定
- ・返還猶予申請書の審査
- ・奨学金返還対象者等の状況確認
- ・奨学金事務運用についての意見交換



日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4
事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp